

A woman in a vibrant, multi-colored floral kimono stands in the center of a wedding aisle. She is holding a bouquet of purple flowers. The aisle is lined with wooden pews decorated with white flowers. In the background, a harp is visible, and the setting is a lush, green garden with a stone wall and trees. The lighting is warm and soft, creating a romantic atmosphere.

Borderless Wedding

しきたりや形式にとらわれるより、自分達らしいカタチでおもてなしを
「何か」や「誰か」との隔たりをなくし、本当に伝えたい想いをしっかりと伝える
大切なのは、ありのままの「ありがとう」

1.コンセプト

2.アイテム

3.見積り

Concept Story



Jun × Rina



Junさんは証券会社にお勤めの30歳。
奈良県のご出身で学生時代は京都で過ごされました。
食べる事・飲む事と、とにかく楽しい事が大好き。
結婚式は自分達だけでなくゲスト参加型にして、みんなで楽しみたいとお考えです。

Rinaさんは銀行にお勤めの29歳。
兵庫県のご出身。三姉妹の末っ子で、お姉様達とは友人のように仲が良いそうです。
結婚式でご家族や地元のお友達と再会できるのをとても楽しみにしていらっしゃいます。

関西出身のおふたりはサービス精神旺盛で、
「せっかくみんな関西から来てくれるから、つまらない思いは絶対させたくない。
今までにない結婚式にしたい。」との思いが。

そんなふたりが選んだのは、“Borderless Wedding“

ウェディングのスタイルにも、ふたりとゲストの間にも、
“垣根“を作らない、フラットでオリジナリティ溢れる一日を。

Original Points

1. 固定概念や形式に縛られないオリジナル挙式

おふたりの人生のテーマから導かれる想いを、一生心に残る本当のオリジナル挙式として創り上げる
挙式スタイルの“ボーダーレス”

2. 和と洋が融合するおもてなしスタイル

和洋折衷の空間・料理であらゆるゲストをおもてなし
和と洋の“ボーダーレス”

3. 距離感を感じさせない、ふたりとゲストの一体感

ふたりの存在を身近に感じる心あたたまるウエディング
ふたりとゲストの“ボーダーレス”



Prologue

ある日、届いた一通の招待状。
差出人を見ると、東京に住む懐かしい旧友の名が。
地図を見るとトレンドの発信地・表参道の地が記され、ワクワクした気持ちに拍車がかかる。

そして迎えた当日。
数年ぶりの東京で初めて降り立ったその街は、洗練されていて、
歩いているだけで何だかテンションが上がってくる。
街並みを眺めながら地図に記された先へ向かうと、わずか2分ほどで目的地に到着。

「ここか」見上げると、新郎と共に青春時代を過ごした京都を どころなく思い出させるような佇まいの
建物が目に飛び込んできた。初めての場所なのに、なんだか懐かしい気がする。
学生時代の思い出を胸に抱きながら、会場へと一歩足を踏み入れた。



1. 固定概念や形式に縛られないオリジナル挙式

案内されたのは、竹林に囲まれた神秘的なセレモニースペース。
大きな窓から降り注ぐ陽光と響き渡る生演奏が心地良い。

しばらくすると司式者から人前式のアナウンスが。

「皆の前で誓いたい」というふたりの想いが伝えられた後、紋服姿のJunが家族と共に入場してきた。
タキシード姿を勝手に想像していた自分は和装という事に驚きつつ、「ええやん、格好良いよ」心の中でつぶやく。
続いて、新婦両親、着物を着た2人の姉と和装の新婦が並んで入場。
家族の一体感が感じられる一幕に、じんわり心が温くなる。

いくつかの儀式が執り行われた後、司式者のコメントに促され、ふたりのもとへ両家の母が進み出た。
Junの母が一言ひとこと噛みしめるように話し始める。

「Rinaさん、Junはお調子者なところがあるけど、実は繊細で脆い部分もあります。そんなJunをこれから生涯支えると誓ってくれますか？」 涙をこらえながら、そう問いかけるJunの母。
呼吸を整えて、震える声で「はい、誓います」と応える新婦。
いつの間にか、自分も瞳が潤んでいた。



1. 固定概念や形式に縛られないオリジナル挙式

挙式後、案内されるまま外へ移動すると折り鶴を手渡され、
「え？鶴?!」と仲間達と盛り上がっていると、ふたりが現れた。

「おめでとーう!!!」

心から祝福の気持ちを込めて、人生初の折り鶴シャワー。
ふたりも緊張から解放されたのか、幸せいっぱいの最高の笑顔だ。

そんなふたりを見て、今日この場にいられる事に喜びを感じた。



2. 和と洋が融合するおもてなしスタイル

挙式の余韻に浸りながら披露宴会場へ向かうと、ウエルカムボードや写真など、ふたりのグッズがたくさん飾られている。ふと目に入った大学生の頃の写真。「うわ、懐かしいな」あの頃の思い出が一気に蘇ってきた。

奥の方では、新婦の友人らしき女性達が「かわいい!」「オシャレだね～」と何やら盛り上がっている。何があるのか気になり自分達も行ってみると、色とりどりの和菓子がきれいに並んでいた。そっかそっかと立ち去ろうとした瞬間、「これ、名前ちゃう?」興奮気味に友人が指さした先には、自分達の名前が。どうやら席次を和菓子で表現しているらしい。ふたりからのもてなしに「やるなー」と、またまた関心してしまった。

披露宴会場へ進むと、和と洋が入り交じったような居心地の良い空間が。窓の外には竹林が生い茂っている。隣の親族テーブルのゲストからは「落ち着いていていいわねえ」「このお花も素敵だわ」と称賛の声。新婦側の友人テーブルは皆スマホを取り出し、思い思いに撮影中だ。

あちこちのテーブルに笑い声と笑顔があふれ、会場は幸せな空気に満ちている。Junの満足そうなドヤ顔を想像しながら、ふたりの入場を心待ちにする自分がいた。



3. 距離感を感じさせない、ふたりとゲストの一体感

オープンキッチンから提供される出来立ての美味しい料理と、久しぶりに会う仲間達との会話を楽しんでいると、司会者からアナウンスが入った。「皆さん、ここでおふたりからプレゼントが届いたようです！」

「こちらにご注目下さい！」言われるまま振り返ると、おもむろ扉が開き、ホワイエに綺麗に並べられたお寿司が！「こちらにお寿司バーをご用意しました！新郎新婦と一緒に楽しみください！」

デザートビュッフェならぬお寿司のビュッフェか！意気込んでホワイエへ向かうと、「ようこそ～」と笑顔で待ち受けるふたり。邸宅を貸し切ったような空間でリラックスしながら、しばし談笑を楽しむ。

披露宴でこんなにたくさん話が出来るとは思っていなかったから、素直に嬉しい。

また披露宴会場には併設して緑豊かな開放的なテラスがある。

ふと見ると、会話を楽しむ友人グループにふたりは囲まれていて、本当に幸せそうだ。

しばらくするとふたりは隣の親族テーブルにやってきた。

年配の女性は顔をくしゃくしゃにしながら「良かった、良かった」と何度も頷き、その様子を見てふたりも笑っている。

ふたりの心遣いに、今日の主役は自分達なんじゃないかと錯覚するほど、とにかく会場中だれもかれもが幸せそうだ。等身大の「らしい」世界観に心地よく浸りながら、心からおめでとう！とふたりの永遠の幸せを願った。



Concept

“垣根”のない、ボーダーレスなウエディングを…



Borderless Wedding

Epilogue

おふたりのウエディングから数日後。
プランナーのもとにRinaさんから一通の手紙が届きます。

そこには、ゲストからふたりに寄せられた感動の声が綴られていました。

「普段はあまり会わない親戚に、“Rinaちゃん達の事をすごく身近に感じられて良かった“と言われました！」

「友人が、“自分は結婚式をしないつもりだったけど、Rinaみたいな結婚式ならやってみたい“と言ってくれたんです！」

そして、手紙はこんな言葉で結ばれています。

「本当にここで結婚式をして良かった。私たちが伝えたかった想いがみんなに伝わって、たくさんの人に祝ってもらって、自分達はこんなに幸せなんだって、心から思えました。本当にありがとうございました。」

まさにふたりが求めていた“垣根”のないウエディング。

ふたりも、家族も、親戚も、友人も。年齢や性別を越えて同じ空間で心をひとつにする事で、ふたりを今までよりぐっと近くに感じるようになる。そんなボーダーレスなウエディングをぜひ貴方にも…。



Recommend Place

クラシカ表参道 × Borderless Wedding

～この会場のおススメPoint～

- ◆ 人気の表参道、駅から徒歩2分の好立地
- ◆ 洋でも和でもマッチする唯一無二のセレモニー会場
- ◆ ふたりの希望にあわせた多彩なオリジナル演出

Borderless Weddingなら、クラシカ表参道がBEST PLACE！！



1.コンセプト

2.アイテム

3.見積り

Cuisine

京都で「RYORIYA STEPHAN PANTEL」を営むステファン・パンテル氏と
クラシカ表参道総料理長・長瀬氏の感性が共鳴し生み出されたオリジナルメニュー

Recommend：真鯛の黒蜜マリネ ポン酢のジュレ
セロリラブのムース ガスパッチョのソルベ
フォアグラのコンフィ 奈良漬巻き
南国フルーツのソース

様々な食材のマリアージュを楽しめる至極の一品
食材の甘味・酸味・塩見といったマリアージュ、温度差や食感の違いを
生み出すステファン・パンテルのスペシャリテ

<メニュー例>

- 真鯛の黒蜜マリネ ポン酢のジュレ セロリラブのムース ガスパッチョのソルベ
フォアグラのコンフィ 奈良漬巻き 南国フルーツソース
- 雲丹と豆乳のスフレ
- かぼちゃのポターージュ
- 金目鯛のロースト
- 牛フィレ肉のロースト カカオ味噌のソース
- フランボワーズのコンポート フロマージュブランのエスプーマ
バルサミコのソルベ添え



Beauty



Recommend :

ドレスショップ【LIVE LOVE LAUGH】のコンセプトは「誰もが憧れる幸福感溢れる女性」
運命の一着を花嫁様と一緒に見つけていきます。

衣装： LIVE LOVE LAUGH

イタリアを代表する最高級のドレスブランド Antonio Riva

ヘアメイク：

最旬のヘアメイクを取り入れながら、ドレスを纏った花嫁様を一際輝かせます。



Decoration

Key Color

Yellow & Brown



Coordinate Image

ボーダレスウェディングを象徴するように
見ているだけで心弾ませ楽しい気分
にさせてくれるイエローや暖色系を取り入れ、
ゲストとの距離をより縮めてくれる。



Program

8:30

お仕度

- ヘアメイク
- 親族紹介

12:00

挙式

- 人前式
和装のオリジナルスタイル

13:00

披露宴

- 披露宴開宴～新郎新婦入場～Wスピーチ～主賓挨拶
- 乾杯～ケーキ入刀
- テーブルラウンド～新郎新婦中座
各テーブルにご挨拶まわり
- 再入場～歓談
- お寿司ビュッフェ～歓談
- 新婦手紙～花束贈呈～謝辞

15:30

送賓

- 送賓



1.コンセプト

2.アイテム

3.見積り

概要

- 挙式開始時間 : 12:00～
- 披露宴開始時間 : 13:00～15:30
- 人数 : 70名

【備考】

- 挙式の時期、曜日、時間帯、お日柄によって割引額は異なります。
- 人数によってお見積りの金額は異なります。
- こちらの見積もりはあくまで一例であり、この金額を保証するものではありません。

婚礼お見積明細書

ご新郎 Jun 様 ご新婦 Rina 様
挙式日時 _____
会場名 クラシカ表参道
人数 70 名

項目	金額	含まれるもの
料理	1,336,000	アレンチコースフルコース
ケーキ	63,000	ウエディングケーキ
飲料	413,000	フリードリンク、ウエルカムドリンク、乾杯酒
会場	350,000	
挙式	240,000	人前式
装花	175,000	ブーケ、テーブル装花
美容	123,000	ヘアメイク、アテンド
衣装	803,500	ウエディング、カラー、タキシード、小物
写真	213,000	記念写真、スナップ撮影
記録映像	172,000	DVD撮影
映像	45,000	オープニング、プロフィール、当日エンドロール
引出物	308,000	
演出	14,000	
司会	70,000	
管音	50,000	
招待状	23,520	
席次表	70,280	
サービス料	216,200	料理・飲料・会場費の10%
その他	0	
総額（税込）	5,060,340	
【最小】運用割引額	0	
【最大】運用割引額	0	
【最低額】総お見積金額	5,060,340	
【最大額】総お見積金額	5,060,340	



gensen wedding
〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-4 三島ビル6F
TEL : 03-6264-7395 / FAX : 03-6264-7396

1.コンセプト

2.アイテム

3.見積り

gensen wedding